メノマンネングサ

Sedum japonicum Sieb.

選定理由 🛮 県内の生育地は散在し,個体数はかなり多い。水田の石垣や人里近い 岩場にも生育するため、採草、採取などの人為による影響が懸念される。

県内分布 耶馬渓地区,英彦山・犬ヶ岳山地,日田低地・丘陵地,玖珠丘陵地・山地, 大分川·大野川丘陵地

ベンケイソウ科

分 布 域 本州 四国 九州(佐賀·大分)

Crassulaceae

カテゴリー

生育環境

低地から山地の岩場。

大分県 準 環境庁 掲載なし

> 現 状 | 県北地方の凝灰岩の岩場に生えるが, しばしば水田の石垣や路傍など にも生育している。

ウンゼンマンネングサ

Sedum polytrichoides Hemsl.

選定理由

分布域が狭いが, 生育地となる凝灰岩は本県の県北地方に比較的広く 分布し,個体数もかなり多い。人が近づきやすい岩場では,人による 採取や生育地の改変が懸念される。

県内分布

耶馬渓・国東丘陵地,英彦山・犬ヶ岳山地,玖珠丘陵地・山地

分布域

本州(西部) 九州(佐賀・長崎・大分) 朝鮮半島,中国・中国(東北部),ウスリー

ベンケイソウ科 Crassulaceae

生育環境 | 丘陵地から山地の岩場。

カテゴリー

準 大分県 環境庁 ||

現

状 │ 県北地方に分布する凝灰岩の岩場に広く生育し,個体数もかなり多い。

備

| 大陸性遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。葉の幅の狭い型 (1~2mm)。国立·国定公園指定植物[瀬戸内海,耶馬日田英彦山]

アオベンケイ

Sedum viride Makino

選定理由 樹上や岩場に生え,県内の生育地は散在しているが,個体数は少ない。 森林伐採や自然災害による着生樹の生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 ┃ 英彦山・犬ヶ岳山地 , 津江山地 , 九重火山群 , 大野川上流域

分 布 域 ┃ 四国 九州(福岡·佐賀·熊本·大分·宮崎)

ベンケイソウ科 Crassulaceae

生育環境 | 低山地や山地の樹上や岩場。着生樹は落葉広葉樹が多い。

カテゴリー

準 大分県 環境庁 掲載なし 現

老木や倒木に着生し,岩場にも生える。「津江山地」では,台風など による着生樹の倒木がみられる。

備

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]